

令和5年度アセスメントプランに係る点検用フォーマット

レベル	対応するポリシー	評価指標	点検実施時期	指標別評価	全体評価
1.大学 全体 レベル	ディプロマ・ポリシー (DP)	学位授与率	3月	●学部:令5卒業生(過年度除)/令2入学生 ・医療保健学部 看護 93/104=89.4% 〃 栄養 78/ 98=79.6% 〃 情報 61/ 92=66.3% ・東が丘看護学部 92/115=80.0% ・立川看護学部 112/118=94.9% ・千葉看護学部 107/115=93.0% ・和歌山看護学部 102/104=98.0% ・全学平均 645/746=86.4% ●大学院 修士:令5修了生(過年度除)/令4入学生 ・医療保健学研究科 22/25= 88.0% ・看護学研究科 34/34=100.0% ・千葉看護学研究科 10/11= 90.9% ・和歌山看護学研究科 6/ 8 = 75.0% ・全学平均 72/78 = 92.3% ●大学院 博士:令5修了生(過年度除)/令3入学生 ・医療保健学研究科 1/5=20.0% ・看護学研究科 0/0= 0.0% ・全学平均 1/5=20.0%	・学位授与率を踏まえ、学位授与率が低い学科においては、退学者や留年者が発生する原因を分析した上で課題点を洗い出し、具体的な改善策を検討する必要がある。
		卒業率	3月	同上	
		就職率/進学率	4月	●就職率(過年度除):令5就職者/令5卒業生 ・医療保健学部 看護 85/ 93=91.4% 〃 栄養 77/ 78=98.7% 〃 情報 58/ 61=95.1% ・東が丘看護学部 86/ 92=93.4% ・立川看護学部 106/112=94.6% ・千葉看護 学部 102/107=95.3% ・和歌山看護学部 98/102=96.1% ・全学平均 612/645=94.9% ※就職希望者を分母とした就職率は、全ての学部で100%である。 ●進学率(過年度除):令5進学者/令5卒業生 ・医療保健学部 看護 6/ 93= 6.5% 〃 栄養 1/ 78= 1.3% 〃 情報 2/ 61= 3.3% ・東が丘看護学部 6/ 92= 6.5% ・立川看護学部 4/112= 3.6% ・千葉看護学部 4/107= 3.7%	

				・和歌山看護学部 3/102= 2.9% ・全学平均 26/645= 4.0%	
		国家試験合格率(国家試験対策模擬試験の対応含む)	3月	●国家試験合格者(新卒) ①看護師 ②保健師 ・医療保健学部 看護 96.1% 100.0% ・東が丘看護学部 97.9% - ・立川看護学部 97.3% - ・千葉看護学部 94.5% 100.0% ・和歌山看護学部 94.5% 100.0% ・看護学研究科 - 100.0% ・全学平均 96.4% 100.0% ・(全国平均) (93.2%) (97.7%) ●国家試験合格者(新卒) ③助産師 ・助産学専攻科 95.0% ・和歌山助産学専攻科 100.0% ・看護学研究科 100.0% ・全学平均 97.0% ・(全国平均) (99.3%) ●国家試験合格者(新卒) ④管理栄養士 ・医療栄養学科 64.6% ・(全国平均) (80.4%)	・国家試験合格者を踏まえ、全国平均を下回っている学科等においては、その原因を分析した上で課題点を洗い出し、具体的な改善策を検討する必要がある。
		各種資格取得状況(デジタル証明/MDASH含む)	3月	●各種資格取得状況 ・医療保健学部 看護学科 ヘルスデータサイエンスプログラム 13名修了 ・医療保健学部 医療栄養学科 フーズスペシャリスト資格認定試験合格 24名取得 専門フーズスペシャリスト資格 1名取得 ・東が丘看護学部 ヘルスデータサイエンスプログラム 全員修了 ・立川看護学部 ヘルスデータサイエンスプログラム 全員修了 副専攻 災害看護学 全員修了 ・千葉看護学部 ヘルスデータサイエンスプログラム 109名修了 ・和歌山看護学部 ヘルスデータサイエンスプログラム 50名修了 ・看護学研究科 特定行為研修修了100%、NP資格試験合格100%	
		卒業時アンケート調査	1月	・IR推進室において、令和4年度学部卒業者を対象として、令和5年1月に学生生活に関する満足度や本学入学後に身についた力等を把握するためのアンケートを実施し、今後調査結果をもとに教育改善等を図ることとして取りまとめた「令和4年度卒業時アンケート集計結果」については、「IR年報」として、7月12日開催の「学部長等会議」に報告の後、教職員に周知したほか、ホームページにて公表した。	・卒業時アンケート調査がより精緻なものとなるためには一定以上の回答率が必要であることから、アンケート実施部局及び回答率が低い学科においては、回答率が高まるよう具体的な改善策を検討する必要がある。

				●令和5年度学部卒業時アンケート回答率 (回答数/卒業者) ・医療保健 - 看護 79/104= 76.0% - 栄養 82/ 82=100.0% - 情報 50/ 50=100.0% ・東が丘 104/105= 99.0% ・立川 121/121=100.0% ・千葉 94/104= 90.4% ・和歌山 81/ 96= 84.4% ・全学平均 611/662= 92.3%	
		卒後アンケート(卒業後1年経過生対象)	9月	・令和3年度学部卒業生を対象として、令和5年7月～8月に卒業後の就業状況、大学時代の学び等で卒業後に役立っていること、後輩へのアドバイス等について卒業生アンケートを実施し、今後調査結果をもとに、教育改善の改善等を図ることとして取りまとめた「令和5年度卒業生アンケート実施結果について」は、9月6日に開催された「内部質保証推進会議」において審議・承認の後、10月18日開催の「大学経営会議」にて報告後、ホームページにて公表した。 ●令和5年度学部卒業後アンケート回答率 (回答数/調査対象者) ・医療保健 - 看護 16/112=14.3% - 栄養 10/ 81=12.3% - 情報 2/29= 6.9% ・東が丘・立川 24/179=13.4% ・千葉 24/103=23.3% ・和歌山 12/100=12.0% ・全学平均 88/604=14.6%	・卒後アンケート調査がより精緻なものとなるためには一定以上の回答率が必要であることから、アンケート実施部局及び回答率が低い学科においては、回答率が高まるよう具体的な改善策を検討する必要がある。
		国際交流・海外研修関連参加率	3月	●国際交流・海外研修関連参加状況 ・医療保健学部 看護学科 オーストラリア現地研修9名、オンライン研修 1名 ・医療保健学部 医療栄養学科 オーストラリアオンライン研修 1名 ・医療保健学部 医療情報学科 オーストラリア現地研修 6名、台湾研修 6名 ・東が丘看護学部 オーストラリア現地研修6名、オンライン研修 2名 ・立川看護学部 オーストラリア現地研修11名、オンライン研修 2名 ・千葉看護学部 オーストラリア現地研修10名 ・和歌山看護学部 オーストラリア現地研修4名 ・医療保健学研究科(博士(看護学)) 国際学会発表 1名	

		学部横断型教育プログラムの評価 データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)	3月	2022年から開始している数理データサイエンス・AI教育プログラムの課程を修了した学生は、大学全体で半数程度にとどまっている。修了率が低い学部においては選択科目が含まれているため、必修科目を中心としたプログラムとなるよう引き続き見直しを行う。 ・修了証(オープンバッチ)発行者数 医療保健学部13名、東が丘看護学部97名 立川看護学部113名、千葉看護学部109名 和歌山看護学部51名	
カリキュラム・ポリシー (CP)	授業評価アンケート		7月/11月	・令和4年度在籍学生による「授業評価アンケート」に基づき、各教員はアンケートに対する授業方法等の改善等を記述したレポートを学科長等に提出し、学科長等はこれを受けて各学科等として取りまとめた「考察」も含めた「令和4年度における授業評価実施結果報告について」は、9月6日に開催された「内部質保証推進会議」において審議・承認の後、10月18日開催の「大学経営会議」にて報告後、ホームページにて公表した。 ●令和4年度授業評価アンケート回答率 (総回答数/調査対象者延人数) ○学部(助産学専攻科を含む) ・医療保健 10920/22616=48.3%(513科目) ・東が丘 5749/10045=57.2%(128科目) ・立川 10230/10759=95.1%(131科目) ・千葉 7919/8671=91.3%(141科目) ・和歌山 3143/8925=35.2%(141科目) ・全学平均 37916/61016=62.1% ○大学院(修士課程) ・医療保健学 381/412=92.5%(45科目) ・看護学 726/778=93.3%(85科目) ・千葉看護学 144/164=87.8%(20科目) ・和歌山看護学 96/107=89.7%(20科目) ・全学平均 1347/1461=92.2%	・授業評価アンケート調査がより精緻なものとなるためには一定以上の回答率が必要であることから、アンケート実施部局及び回答率が低い学科においては、回答率が高まるよう具体的な改善策を検討する必要がある。
	学生の学修に関する実態調査(注7)		12月/3月	・IR推進室において、令和4年12月1日に在籍する全学部生を対象として、学修に関する実態調査を実施し、今後調査結果をもとに教育改善等を図ることとして取りまとめた「令和4年度学生に関する実態調査」については、「IR年報」として7月12日開催の「学部長等会議」に報告の後、教職員に周知したほか、ホームページにて公表した。 ●令和4年度学生の学修に関する実態調査回答率 (回答数/学部学生数) ・医療保健 - 看護 257/442= 58.1% - 栄養 185/320= 57.8%	・学生の学修に関する実態調査がより精緻なものとなるためには一定以上の回答率が必要であることから、調査実施部局及び回答率が低い学科においては、回答率が高まるよう具体的な改善策を検討する必要がある。

				情報125/262= 47.7% ・東が丘198/454= 43.6% ・立川448/466= 96.1% ・千葉230/436= 52.8% ・和歌山208/ 407=51.1% ・全学平均1651/2787= 59.2%	
	年次別学生数(進級率/休学率/退学率)	3月/9月	●学部 令2入学者の進級状況等 令2 令3 令4 令5 卒業 留年 退学等 ・医療看護104 103 102 99 93 6 5【4.8】 ・栄養98 92 90 87 78 9 11【11.2】 ・情報92 88 74 70 61 10 21【22.8】 ・東が丘115 114 112 112 92 16 7【6.1】 ・立川118 117 116 115 112 3 3【2.5】 ・千葉115 111 111 111 107 3 5【2.6】 ・和歌山104 104 104 103 102 1 1【1.0】 ・全学計746 729 709 697 645 48 53【7.1】 ・(進級率)(97.7%)(95.0%)(93.4%) ・<卒業率><86.4%> ・【退学率】【7.1%】 ●大学院 修士 令4入学者の進級状況等 令4 令5 修了 留年 退学等 ・医療保健学25 25 22 2 1【4.0%】 ・看護学34 34 34 0 0 ・千葉看護学11 11 10 1 0 ・和歌山看護学8 8 6 2 0 ・全学計78 78 72 5 1【1.3%】 ・(進級率)(100.0%) ・<終了率><92.3%> ・【退学率】【1.3%】 ●大学院 博士 令3入学者の進級状況等 令3 令4 令5 修了 留年 退学等 ・医療保健学5 5 5 1 4 0 ・看護学0 0 0 0 0 0 ・全学計5 5 5 1 4 0 ・(進級率)(100.0%)(100.0%) ・<終了率><25.0%> ・【退学率】【0.0%】	・進級状況等を踏まえ、退学者や留年者が多い学科においては、退学者や留年者が発生する原因を分析した上で課題点を洗い出し、具体的な改善策を検討する必要がある。	
	課外活動実施・参加率	全学年度を通じて	・各学部等の取組を参照。		
	教職員の業務内容の整理・点検の実施状況	3月	・令和6年2月21日開催の「内部質保証推進会議」において、令和6年度にカリキュラムの見直し等に合わせて教職員の業務内容の整理・点検として、4件の報告があり、審議の上承認された。 ①医療栄養学科において、新入生の読解力や文章力を向上させるため、「実用国語」の開設に必要な教員配置の件。 ②医療栄養学科において、新たに「臨床検査学専		

				攻」を設置するために必要な教員配置の件。 ③立川看護学部において、災害看護学コースを担う看護基盤学領域の担当科目増への対応及び災害看護学VR教材の開発等に伴う教員配置の件。 ④立川看護学部において、DPに定められた学修目標の達成状況を分析し、「健康問題を解決する力」を伸長させる等のために科目担当者の役割分担の見直しや、シラバスの見直しに伴う常勤医師等の講義担当者の再編等の実施の件。	
アドミッション・ポリシー (AP)	入学試験(形態別)	入学前	【総合型選抜】 ・入学者受け入れの方針に則し、各学部学科が求める人材を公平・公正な評価により選抜できた。 【学校推薦型選抜】 ・入学者受け入れの方針に則し、各学部学科が求める人材を公平・公正な評価により選抜できた。 【一般選抜】 ・入学者受け入れの方針に則し、各学部学科が求める人材を公平・公正な評価により選抜できた。 【大学入学共通テスト利用入学試験】 ・入学者受け入れの方針に則し、各学部学科が求める人材を公平・公正な評価により選抜できた。	・少子化が進む中、入学者数が比較的安定している看護学科においても、プレースメントテストの結果では、入学した学生の学力水準が低下傾向にある中で、優秀な学生を一定数確保するための入試の在り方について、今後も検討していく必要がある。 ・医療栄養学科は、令和6年度から、「管理栄養学専攻」と「臨床検査学専攻」の2専攻を設置したことにより、入学志願者数、入学者ともに前年度より増加したが、それぞれの専攻の魅力を学生募集時から発信し、着実に優秀な学生を募集定員までは確保する必要がある。	
		入学率	入学率=入学者/合格者 ・医療保健学部看護学科 32.0% ・医療保健学部医療栄養学科 53.3% ・医療保健学部医療情報学科 60.0% ・東が丘看護学部看護学科 42.4% ・立川看護学部看護学科 53.0% ・千葉看護学部看護学科 44.0% ・和歌山看護学部看護学科 60.2% ・全学平均 45.4%	・医療情報学科の改組については、文部科学省の支援事業である「大学・高専機能強化支援事業」に採択され、工学系の新学科を構想したが、学生確保の不確実性等から断念した経緯があり、改めて医療保健学部全体の課題として根本的にかつ早急に学部の在り方を構想し直す必要がある。	